

鳥取県若手林業技術職員育成のための研修（ロードマップ）

令和8年 4 月

		行動目標	必要なスキル（求められること）	県の研修	派遣研修（県内）	国の研修
Step	注意事項 係長昇任 概ね35歳まで	・できる限りすべての林業技術職員が林業普及指導員の資格を取得することを目標とする。		●原則すべて林業技術職員が必須 ■県営業務・工事担当必須、□〃選択 ▲普及担当必須	●原則すべて林業技術職員が必須 ○希望者 ■県営業務・工事担当必須、□〃選択	▲林業普及指導員必須、△〃選択 ○希望者
6～10年目	10年目 《概ね3年の異動》 (8年目) 《概ね3年の異動》 3 6年目	《広く様々な分野を習得》 ～自分の専門性を見つける～ ■職務遂行能力の発揮 ←森林総合監理士の資格取得 《広く様々な分野を習得》	⑫係長代行ができる。 ⑪後輩を指導、育成する。 ⑩担当する業務の施策提案をする。 ⑨流域の課題解決に向け施策提案をする。 ⑧所管する管内や担当業務の懸案課題を担当する	●森林総合監理士試験対策 ▲路網＆搬出計画検討会【普及担当全員】	□建設技術センターの研修 別途依頼あり	▲森林総合監理士育成（実習） ▲森林総合監理士育成（講義） △集材架線 △森林作業道（作設指導） △高性能林業機械（安全指導前期・後期） △チェーンソー伐木造材（安全指導）
3～5年目	(5年目) 《概ね3年の異動》 2 3年目	←林業普及指導員（一般）資格取得 ■基礎的職務遂行能力の定着 《広く様々な分野を習得》	⑦関係者と連携し課題解決を図る。 ・地元説明、打合せ、調査等の企画 ⑥後輩に助言。係内の業務にも目を向ける。 ⑤災害等の突発的な業務を担当する。 ④所管する管内や担当業務の主要課題を担当する	●伐木技術・安全（ゲートホルツ） ●林業普及指導員試験対策 ●林業・木材現場実習（個別派遣） ▲路網＆搬出計画検討会 ●微地形・路網（座学）（操作＋現場）	○森林管理制度研修会 □建設技術センターの研修 別途依頼あり ○鳥取県林業DX人材養成講座 ○原木しいたけ生産講座 ●伐木等業務に係る特別教育	△チェーンソー伐木造材（スキルアップ） △高性能林業機械（生産性） △チェーンソー等伐木造材基礎 ○森林作業道（調査設計） ○高性能機械（女性担当者） ○高性能機械（基礎） ○森林保護管理（病虫害・獣害）
1～2年目	1年目 新規採用 1	■林業の未来をイメージ ■3流域の特長、課題を知る ■森林、林業の基礎知識を習得	③簡単な資料作成ができる。 ・森林クラウド、QGIS操作 ②自分の業務進捗の共有ができる。 ・ハウレンソウ ①基礎的な業務ができる。 ・法令、例規、規則等の理解 ・森林林業木材の基礎知識の習得	●▲流域課題（東中西） ●クラウド基礎 ■積算システム、CAD ※県土整備部の研修 ●初任者（座学）●初任者（苗木） ●農林漁家 ●初任者（林道・専用道）	□建設技術センターの研修 別途依頼あり	○森林作業道基礎 ○保安林及び林地開発許可 ○盛土規正法の実務 ○林道技術者育成（講義、実習） ○治山（基礎） ○森林施業・管理 ○森林整備 ○森林計画（計画策定、情報処理）

参考資料：鳥取県職員の人材育成、能力開発に向けた基本方針